

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



「青空に映える」撮影：水田 孝氏

INDEX

- | | | | |
|-------------------------------|---|-----------------------|---|
| ●ごあいさつ 院長 木寺 義郎…………… | ① | ●呼吸ケアチームの御紹介…………… | ⑤ |
| ●「佐世保共済病院100年史」発刊 | | ●新システムの御紹介 | |
| ●緩和ケア講習会 開催報告…………… | ② | ●地域医療連携室より…………… | ⑥ |
| ●第11回 KKR シミュレーション・ラボセンター出張研修 | | ●トピックス 共済病院での初期研修を終えて | |
| ●診療活動の現況 — 皮膚科 — …… | ③ | ●編集後記 | |
| | | ●外来診療担当表…………… | ⑦ |

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



平成 24 年の辰年を迎えて、当院にとって新しい世紀が始まりました。期を一にして新規のオーダーリングシステムが 1 月 1 日より稼動しました。このシステムは 5 月に移行する電子カルテの本体部分であり、電子カルテと遜色のない機能を有しています。導入当初は診療時にディスプレイの画面に視線が釘付けという状況を生じて、皆様にご迷惑をお掛けしたのではないかと危惧しております。

電子カルテの普及率は、国内の病院全体で 20%位といわれています。国家公務員共済組合連合会の 34 病院では約 60%で、全国の 400 床以上の病院の普及率と同程度です。私も高齢者の手習いよろしく操作に取り組んでいますが、習得すると利便性は期待していた以上のものがあります。膨大な情報から目的のものを引き出す検索能力や院内のどの場所からでもアクセスできる機能によって、診療上の負担が大きく軽減しました。

地域の医療機関の間でも、画像や情報を共有するシステムが構築されれば、複数の医療機関を利用することも多い患者さんは迅速で無駄の無い医療を受けることができます。既に県央地域や長崎市では「あじさいネット」が実用化されており、佐世保市でも同様の試みが始められようとしています。

1 年前の 3 月 11 日の東日本大震災では多くの医療機関が罹災し、患者さんの医療情報も失なわれました。クラウド型の地域連携システムが医療分野でも導入されれば、災害時にも対応できる医療体制が構築されます。新しいネットワークの創設で、有事にも安定した医療が提供されるような世紀が迎えられることを期待しています。

「佐世保共済病院 100 年史」発刊

編集委員長 萩原 博嗣



連絡先：医療連携室（1 階医療相談窓口）
価格：3,000 円
（当院 OB・OG の皆様は 1,000 円）

創立百周年記念事業の目玉として昨年から編集を進めてきた「佐世保共済病院 100 年史」がこの度発刊の運びとなりました。30 年前に発刊された 70 年史の後を承けて、その後の当院の歩みを記録したもので、老朽化した建物をすべて更新し北館新病棟が完成するまでの道のり、臨床各科のあゆみ、近年整備が進められてきている院内各種委員会の活動などについて詳しく紹介した内容となっています。また、以前の建物や診療の様子、先輩たちの思い出なども盛り込んであり、当院の昔を知る方々にも往時を回顧し、新旧の変化を知る機会としてご一読願いたいものと存じます。希望者には実費で配布する予定です。ご希望者には実費で配布する予定です。ご希望者には実費で配布する予定です。

平成24年1月27日（金）、緩和ケアについての院内合同カンファレンスが行われました。今回の講演は、広島大学総合内科・総合診療科准教授の佐伯俊成先生をお迎えして、「医療従事者なら知っておきたいストレス対処のコツ —心のケアのエッセンス—」というテーマでお話し戴きました。講演の中で、コミュニケーションには性差があるという興味深い話題がありました。男性は



講演中の佐伯俊成先生

は序列・システム志向型で話す時間が短く、具体的な事物を話題にすることが多いのに対して、女性は共感型で話す時間が長く、お互いの気持ちや人間関係に関する話題が多いというお話で、思わず頷いてしまいました。

また、究極のストレス解消法は“眠ること”で、健やかに生活する上で一番大切だということです。先生のシステム化された独特の語り口と、絶妙な間をおいた講演は、まるで落語の高座を聴いているように楽しく説得力があり、会場は多いに盛り上がりました。

第11回 KKRシミュレーションラボセンター出張研修

医療安全管理室師長 山崎 純子

平成24年2月2日、2月3日当院にて上記研修会が開催されました。

KKRシミュレーション・ラボセンターは平成19年に虎の門病院分院に開設されたもので、新人の医師、看護師、その他コメディカルを対象に医療安全管理のための各種シミュレーター（訓練目的に作られた人体模型）を用いた実地研修を行っています。今回は連合会病院 西日本ブロックの職員を対象にラボセンタースタッフ、受講生・見学者合わせて86名の参加がありました。研修内容は患者急変対応コース、透析患者急変対応コース、人工呼吸器トラブルシューティングなどに分かれて、講義とともにシミュレーターを患者に見立てた実践研修を行いました。

今回初めて、多施設の指導者が協力して同職種の後進を育成するという取り組みを行い成果が得られました。

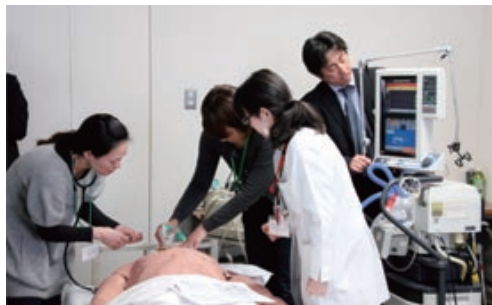
今後当院で多くの指導者を育成するとともに、地域の医療従事者の質の向上に役立てていきたいと考えています。

シミュレーション・ラボセンターの詳細は虎の門病院ホームページ

<http://www.toranomon.gr.jp/site/view/> をご参照ください。



透析患者急変対応コース

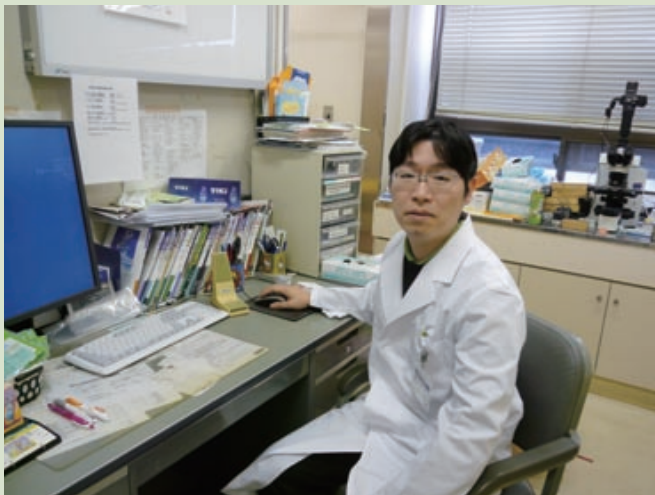


人工呼吸器トラブルシューティング

診療活動の現況 — 皮膚科 —

【はじめに】

皮膚は直接観察できるため、皮膚科は臨床所見や簡易な顕微鏡検査のみで診断がつくことが多い診療科です。臨床所見のみで正確な診断がつかない場合は、皮膚を一部採取して病理検査を行います。検査から、およそ1週間で結果がでます。



診察室の天津皮膚科医長

しかし、他科に比べると診断が付きやすい反面、誤診も少なくない診療科です。もちろん誤診などしないように鋭意頑張っているのですが、「後医は名医」という言葉を一番実感できる診療科だと思います。

また、皮膚疾患は内臓疾患や膠原病、悪性腫瘍などに関連することもあります。したがって他科との連携が必要になることが多く、必要に応じて専門領域の医師に紹介し、併診させていただいています。

【当科の紹介】

皮膚科外来は、医師2名、看護師2名のスタッフで診療にあたっています。月曜日、木曜日は午前・午後の両方、火・水・金曜日は午前のみで外来診療を行っています。また、水曜日の午後は手術室での大きめの手術を、

火曜日、金曜日の午後は外来でできる小手術を行っています。

入院患者は年間で100名ほど（半数ほどが他院よりの御紹介です）、手術は大小合わせると200例ほど行っています。以下、私達が診療する機会の多い疾患について述べさせていただきます。

【带状疱疹】

水痘、带状疱疹ウイルスの再活性化によって起こります。疲労やストレスを契機に起こり、体の半身に強い痛みをもった紅暈、水疱が帯状に出現します。顔面に発症することも少なくなく、適切な治療を行わなければ視力障害、聴力障害、顔面神経麻痺、带状疱疹後の神経痛などが起こることもあり、状況に応じて入院も必要になります。治療は抗ウイルス薬の点滴または内服による投与です。1年を通じて来院がありますが、夏休みや年末に患者が増える印象があります。

【皮膚良性腫瘍】

表皮嚢腫（粉瘤）や脂漏性角化症（年寄りぼ）、母斑（ほくろ）などが代表的なものであり、主に外来で局所麻酔下に切除したり、液体窒素で凝固させたりして治療しています。

【皮膚悪性腫瘍】

基底細胞癌、有棘細胞癌、悪性黒色腫、乳房外パジェット病、悪性リンパ腫などがあります。臨床所見のほか、主に皮膚生検で確定診断を行い、皮膚悪性腫瘍取扱い規約に沿った治療を行います。抗がん剤治療などが必要な場合は大学病院などに紹介しています。

【白癬】

いわゆる水虫で、外来で最も多く診察する疾患かもしれません。顕微鏡検査で真菌を確認します。爪白癬や体幹の広い範囲に及ぶ時などは、内服の適応になります。

【アトピー性皮膚炎】

皮膚科、小児科でガイドラインが作成されており、それに沿った治療を中心とします。保湿剤外用やステロイド外用の治療が中心となりますが、症状がひどい時には内服も追加します。患者さんの中にはステロイド外用による副作用の恐怖感がある方もおられます。

しかし、ステロイド外用による副作用は可逆的なものであり、医師の指示する通りに使用すれば安全に使用できます。

【尋常性乾癬】

境界明瞭な鱗屑を伴う紅斑が、肘、膝、腰などの擦れやすい部位に出現します。半数ほどの患者さんにかゆみを伴います。ビタミンD3外用、ステロイド外用が中心になりますが、光線療法、免疫抑制剤の少量内服などを行うこともあります。また、大学病院などでは生物学的製剤の注射による治療を行うこともあります。

【薬疹】

薬剤だけでなく、健康食品などでも発症することがあります。全身にかゆみを伴う紅斑がでるケースが多いですが、口唇のびらんや眼球の充血など伴う場合は重症です。その場合はステロイド剤を間歇的に多めに投与するパルス療法が必要になります。原因となる薬剤の特定にはパッチテスト、血液検査

(DLST)、入院による内服チャレンジテストなどを行っています。

【陥入爪】

ワイヤーによる爪の変形矯正や、食い込んだ爪を部分切除するフェノール法などを行います。前者は最近開発された治療法で保険適応が認められておらず、時間がかかりますが痛みや再発が少なく、後者は麻酔の痛みがありますが、短時間で治癒するメリットがあります。

【おわりに】

皮膚科領域の治療は近年大きく変化してきており、新しい治療法が増えてきています。

皮膚、爪、毛髪など気にかかることがありましたら気軽にご相談ください。



手術中の大津、橋本両医師

呼吸ケアチームのご紹介

HCU 師長 乾 広貴

呼吸ケアチームとは、呼吸不全の患者さんが使っている人工呼吸器に関連して発生する色々な問題に対してサポートを行い、より高いケアを提供して人工呼吸器からの早期離脱を支援するためのチームです。深野麻酔科部長を中心に、看護師8名・臨床工学技士1名・理学療法士1名・事務員1名の計12名のメンバーから構成されています。

昨年7月の発足から、本年1月までの6ヶ月間で13名のサポート依頼があり、12名の呼吸器離脱に成功しています。人工呼吸器装着後3日目に離脱できた方から2カ月を要した方まで、対象となる患者さんは様々です。生命維持に直結する人工呼吸器を安全に運用し、離脱を早めるためには、人工呼吸器の管理に精通した臨床工学士、専門的なりハビリを行う理学療法士、そして、常に患者さんを見守り統合的なケアを行う看護師など多方面からのアプローチが不可欠です。メンバー一同、これからも日々研鑽して参りたいと考えております。

発足後半年とまだ立ち上がって間もないチームですが、呼吸ケアについての御相談があれば、HCU（ハイケアユニット）師長 乾までいつでもお気軽に御連絡下さい。



前列左から西本臨床工学技士、深野部長、乾師長
後列左から大津理学療法士、池田事務員

新システムのご紹介

情報システム課長 松本 洋行

平成24年1月元旦、新しい医療情報システムが稼働し始めました。

この度採用したのは電子カルテとしては国内で最も多くの病院で採用されている、富士通の電子カルテシステム、HOPE / EGMAIN GX です。

その他に、医用画像診断支援システム（PACS）、調剤支援システム、検体検査システム、診療録管理システム、医療連携システム、健診システム、看護勤務管理システムなども新しく稼働し始めており、日々の診療をサポートしています。



新システムを使用している看護師

4月までは従来どおり紙カルテを使用しますが、5月からは電子カルテ運用に切替える予定で準備を進めているところです。併せて細菌検査、病理検査、輸血管理、生理検査、感染管理などについても新システムが稼働する予定です。

創立100周年を終えた今、当院の医療IT化計画が大きく動き出そうとしています。

創立100周年を終えた今、当院の医療IT化計画が大きく動き出そうとしています。

地域医療
連携室より

Part.
15



いけだ小児科

〒857-0034 長崎県佐世保市万徳町8-15

TEL 0956-24-6981

院長 池田 修三 先生

いけだ小児科の池田修三です。市役所の裏の万徳町で、祖父と父は内科を開業していました。私は4人兄弟の末っ子であり、両親も自分も家業を継ぐなど全く考えてなかったのが、好きな事をやりなさいと育てられ小児科医になりました。しかし、長兄が研究医、次兄がリハビリ医へと進み、父が病の為診療を続けることが出来なくなった為、診療科を内科から小児科に変更し後を継いでいます。



スタッフの皆さんと池田先生（中央）

さて、私は平成18年6月より1年間共済病院でお世話になり、一般小児科と神経疾患を診させて頂いていました。私が開業しようとしていた時期は小児科医の再編が行われており、大学からの共済病院への小児科医の派遣が中止になった頃と一致します。それに伴って神経専門医の派遣も無くなった為、共済病院で診ておりました“てんかん患児”の多くを開業後も引き続いて診療しています。しかし、脳波の測定や頭部画像診断など、小児科の開業医では難しいものも多く、共済病院の放射線科や検査技師の先生達には今も大変お世話になっています。

また、低身長の子供たちの負荷試験など、無床診療所では難しいものに関しても小児科部長の岡先生には快く引き受けて頂き感謝申し上げます。

多くの方達に支えられながらの毎日ですが、これからも、佐世保の小児医療の為に、微力ながら貢献できるよう専心努力してまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

トピックス 共済病院での初期研修を終えて 臨床研修医 布村 拓也

私はこの佐世保の地で、一年次初期研修を無事終えられたことを大変嬉しく思っています。

時には厳しく、また時には楽しいメリハリのある研修生活を、スタッフの皆様や研修医の仲間と共に過ごせてとても幸運でした。とりわけ、ネイティブスピードの英語と米式の診療を体感できる米軍診療所での診療研修は、非常に良い経験となりました。

この4月からは、母校の九大病院にて研修を続け、将来は地域医療に貢献できる医者になることができると考えています。共済病院の皆様、1年間本当にありがとうございました。また、どこかで皆様とお会いできる機会を心から楽しみにしています。



編集後記

当院は101年目に入りました。1月から新オーダーリングシステムへ移行し、5月には電子カルテシステム稼働とますますデジタル化が進みますが、「きょうさいだより」は紙面のままで発行し、みなさんの手に取ってもらえる身近な広報誌であり続けたいと思います。今年の表紙は4回にわたって佐世保在住の水田 孝様より提供して頂くことになりました。青空に映える美しい桜に春を感じます。 編集委員 谷口友佳子



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 24 年 4 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●										腎臓疾患・人工腎臓
	医員	光武 涼子			●		●						腎臓疾患
	〃	松本圭一郎	●					●			●		腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	非常勤医	田淵くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患
	〃	大野 聡子									●		循環器疾患
	〃	西田 憲史	●		●								循環器疾患
神経・漢方内科	医長	樋口 泰雄	●		●				●				内科・神経内科・漢方・禁煙外来
呼吸器内科	非常勤医	溝口 祐輔					●				●		呼吸器疾患
	〃	横山 哲也											呼吸器疾患
消化器センター			●		●		●		●		●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等
			井原		富崎		佐藤		田尻		井原		
外科	外科顧問	松永 章							●				消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	診療部長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	尼子 真生	●				●		●				血管外科・一般外科
	医員	佐藤 寿洋			●						●		消化器外科・一般外科
	〃	田尻 健亮	●								●		一般外科
	〃	金本 亮					●		●				一般外科
	非常勤医	川畑 方博			●								肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二									●		呼吸器外科 (第1・3・5週のみ)	
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい。(要予約)
			佐藤		田尻		原田		原田		金本		
小児科	部長	岡 尚記	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	非常勤医	土居 浩	●		●								小児一般
	乳児健診					●							火曜 午後1時から診察開始
	慢性外来							●					水曜 午後2時から診察開始
	喘息外来									●			木曜 午後2時から診察開始
脳神経外科	部長	川口 務	●		▲		●		●		●		脳神経外科 ▲は10時30分までに受付を行って下さい。
	頭痛外来 (完全予約制)			●	●	●		●					月曜、水曜：午後2時30分～午後4時30分 火曜：午前11時～午後0時30分、午後2時30分～午後3時30分
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	久我 尚之			●		●		●				脊椎外科、腰痛、骨・軟部腫瘍、骨折
	医長	花田麻須大	●						●		●		手の外科、マイクロサージェリー
	〃	水城 安尋			●		●				●		肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患
	医員	志田 義輝	●				●		●				膝関節疾患、人工関節置換術
	〃	近間 知尚	●		●						●		整形外科一般
皮膚科	医長	大津 正和	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、带状疱疹、皮膚腫瘍
	医員	森 槇子	●	●	●		●		●	●	●		男性型脱毛、陥入爪、ピアス、皮膚腫瘍手術 (火・水・金の午後)
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●		●		●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染
	部長	江口 二朗	※		●				●		●		男性不妊 (江口部長) ▲の診察は第1週のみ10時30分からです
	医長	中村 貴生	※		●		●		▲				※：第2・4週 (江口部長) 第1・3・5週 (中村医長) が診察を行います
産婦人科	院長	木寺 義郎	●						●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下 秀一郎					●		■		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	医員	佐藤 由佳	●■		●		■		●		■		
〃	二尾 愛	●		●		■		●		●			
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、 眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
	医員	藤田 秀昭	●		●	※	●	※	●		●	※	※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来 (要連絡)
耳鼻咽喉科	医長	綾田寅之進	●		●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	安井 徹郎	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	江畑 智広											
	〃	村木宏一郎											
麻酔科	部長	深野 拓			●				●				月～金午前ペイン・緩和ケア外来
	医員	木本 文子	●				●				●		月～金午後は手術麻酔
	〃	矢野倫太郎			●				●				
	非常勤医	吉村 真紀											
	〃	別府 幸岐											
病理診断科	診療部長	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
	医長	角町 鎮男	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科・口腔外科 (紹介患者のみ新患受付)
歯科 口腔外科	医員	矢内 雄太	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	顎変形症 (外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・ マウスピースなど
	医長	原 敬一	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。										